

Work on Life はたらくために、大切なことを。

サル痘ってどんな病気？



欧米を中心に感染が広がり、WHO(=世界保健機関)が7月23日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に相当すると宣言したサル痘。WHOの緊急事態宣言は、2020年1月30日に新型コロナウイルスに対して出されて以来。「コロナの次はサル痘？」と心配されている方もいるかと思いますが、正しく知れば恐れすぎる必要はありません。今回のPRESSではサル痘とは何か、どんな経路で感染するのかご紹介したいと思います。

サル痘とは

まずはサル痘とはどんな病気なのかご紹介しましょう。

- ① 感染経路：リスをはじめ、サルやウサギなどウイルスを保有する**動物との接触**によりヒトに感染
感染者の飛沫への長時間の曝露、体液や飛沫で汚染された寝具等との接触、性的接触によっても感染
- ② 潜伏期間：**通常7-14日**（最大 5-21日、平均12日）
- ③ 症状：**発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が0-5日程度持続し、発熱1-3日後に発疹が出現**
リンパ節腫脹は顎下、頸部、鼠径部に見られる。皮疹は顔面や四肢に多く出現し、徐々に隆起して水疱、膿疱、痂皮となる。
- ④ 予後：多くの場合2-4週間持続し自然軽快 / 小児例や、あるいは曝露の程度、患者の健康状態、合併症などにより重症化することがある
- ⑤ 合併症：皮膚の二次感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎など
- ⑥ 治療：国内で利用可能な薬事承認された治療薬はなく、症状に対する治療（対症療法）がメイン
- ⑦ 予防法：天然痘ワクチンによって約85%発症予防効果がある / 感染者との接触回避 など

デンマークで最初にサルからウイルスが見つかったことから「サル痘」と呼ばれるだけで、その後は他の動物からも検出され、最も多いのはネズミなどげっ歯類とされています。「コロナのように予防接種を早く受けて、予防したい！」と思われる方もいらっしゃるかと思います。実は、予防に効果があるとされている天然痘のワクチンは医療機関ですら簡単に手に入るものではなく、すぐには打てないのが現状です。では、普段の生活の中でできる予防法はどんなものがあるか、次にご紹介したいと思います。

普段からできる感染予防 / サル痘かも?!と思ったら

サル痘は普段の感染対策で予防できると考えられています。コロナも含め今一度感染対策を見直しましょう！



サル痘の感染対策

- ・感染者及び有症状者の飛沫・体液等との接触を避ける
- ・ウイルスが服やシーツに付いた可能性があれば洗濯を
- ・石鹸やアルコール消毒による**手指消毒の徹底**
- ・**マスクの着用の徹底**
- ・不特定多数の方との性的接触を避ける
- ・**流行地**ではウイルスを保有する可能性のあるげっ歯類等（リス・ネズミ・ヤマアラシ等）との接触を避ける。

流行地の例）ヨーロッパ諸国、ブラジル、アメリカ、フランスなど

参考：厚生労働省ホームページ

サル痘かも?!
とおもったら

マスクを着用し、発疹部位をガーゼで覆ってから、医療機関を受診しましょう。また受診前に受け入れ可能か確認をしてからの受診がオススメです。



個別のご相談は
相談フォームへ！

CAREKEYは
「nsgk03823」



ミッドワイフ
赤坂智美

ご相談はコチラから

